

## 商店街名：蒲郡商店街振興組合【蒲郡市、平成 28 年度指定】

### 1 活性化モデル商店街の概要

#### ●キャッチフレーズ

食べる！見る！買う！蒲郡商店街

#### ◎商店街の将来ビジョン

##### 【現状】

近年の地場産業の衰退や、地域経済の停滞、郊外を中心とした大規模商業施設やコンビニエンスストアの進出による売上の低迷により、厳しい状況に置かれている。

##### 【課題】

店主の高齢化や後継者不足による空き店舗の増加により、市民の買い物ニーズに対して十分にこたえることができない状態になりつつある。

##### 【対策】

商店街を歩行者天国にして行うテント市「福寿稲荷ごりやく市」を核としたイベントの実施や、空き店舗の解消、個店への集客に繋がる仕掛け作り、地域団体との連携による人材発掘、不足業種出店など、一度訪れた人がまた足を運びたくなるような商店街を目指す。

#### ◎具体的に取組む事業内容

##### ○福寿稲荷ごりやく市事業

- ・ごりやく市と連携して平常時に「まちゼミ」事業を実施（28年度）
- ・近隣高校の学生による太鼓演奏、ごりやく市 80 回記念イベントの実施（29年度）
- ・ごりやく市での不足業種の出店、マスコットキャラクター「こんきち」のデザインを掲載した商品開発（30年度）
- ・学生やボランティアによるブースの出店、ごりやく市 90 回記念及び 15 周年記念イベントの実施（31年度）
- ・商店街の個店の集客増加に繋がる仕掛け作りの実施、ごりやく市 100 回記念イベントの実施（32年度）

##### ○蒲郡商店街振興組合空き店舗対策事業費補助金（28年度～32年度）

## 2 活性化モデル商店街の実績・成果等

### ◎商店街の将来ビジョンの実績

事業の実施により、空き店舗の一部解消や不足業種出店などの目標については達成できた。

### ◎事業実績

#### ○福寿稲荷ごりやく市事業（H28年度～R1年度）

平成28年度から令和元年度まで、テント市「福寿稲荷ごりやく市」を年6回開催（令和元年度は5回）。ダンス・和太鼓・落語等の各種催事を同時開催したほか、年度ごとに「地元高校生によるポスター制作、太鼓演奏等への出演」「地元大学生によるブース出展、ダンス・落語等出演」「まちゼミ事業の実施」「80回・90回記念品の贈呈」等、地域に根差した企画を実施した。

また、商店街のPR効果の向上のため、マスコットキャラクター「こんきち」のストラップ作成・着ぐるみのリニューアルを行うなど、商店街の賑わいの創出に繋がる事業となった。

#### ○蒲郡商店街振興組合空き店舗対策事業費補助金（H28年度～R2年度）

蒲郡商店街区域内の空き店舗へ出店した事業者に対して家賃補助を実施し、3件の活用があった。

### ◎事業の効果

- ・新型コロナウイルス感染症の影響が無かった平成30年度まで平均来場者数が増加しているほか、福寿稲荷ごりやく市のホームページへのアクセス数が令和元年度まで増加しており、知名度が向上した。
- ・平成28年度～令和2年度までに空き店舗補助金が計3件活用され、蒲郡商店街区域内への出店が促進された。

### ◎新型コロナウイルス感染症を踏まえて取組んだこと

感染症の拡大が落ち着いた令和3年4月には、規模を縮小し感染症対策を取った上で、福寿稲荷ごりやく市を現地開催することができた。

### ◎その他の成果

- ・新聞や観光情報サイト等の各種媒体でもごりやく市が紹介されており、蒲郡市の主なイベントの一つとして定着してきている。
- ・国内で発生した災害への募金実施など、公益的な活動に取り組んでいる。
- ・マスコットキャラクター「こんきち」は、ごりやく市のみならず市内・近隣のイベントにも着ぐるみ出演し、蒲郡市及び商店街の知名度向上に寄与している。



（福寿稲荷ごりやく市 会場の様子）